

にいがた食の安全・安心基本計画 指標一覧

成果指標 計画全体の目的の達成度を測る

指標名	基準年 (H29年度)	最新値 (R3年度)	目標値 (R3年度)	進捗 状況	担当 課	
新潟県内で生産・加工・製造された食品が安全だと思ふ県内外の住民の割合	県内	84.1%	87.0%	増加させる	→	生活衛生
	首都圏	77.7%	82.6%	増加させる	→	生活衛生

◆進捗状況の凡例

○: 目標値(R2)を達成 6指標 →: 基準年(H29)から横ばい 4指標
 ↑: 基準年(H29)から増加 0指標 ↓: 基準年(H29)から減少 10指標

取組指標 施策ごとの達成度を測る

施策	No	指標名	基準年 (H29年度)	前年度 (R1年度)	最新値 (R2年度)	目標値 (R2年度)	進捗 状況	担当 課
等心① のな安全 の提供作 での物安 な推 進	1	認証GAPの取得農場数	67農場	122農場	138農場	120農場	○	経営普及
	※県の農業経営基盤強化促進基本方針に基づく経営体:6,386経営体(R1.3.31)							
な② 供畜安 の産全 推物で 進の安 提心	2	畜産農場における飼養衛生管理基準の遵守率	90%	66%	83%	100%	→	畜産
	※県内畜産農場数:585戸(R3.2.1) 【進捗状況補足】 平成30年に他県で豚熱(家畜伝染病)が発生し、国が飼養衛生管理基準の項目数や内容を変更したことから、新基準への対応のために令和元年度に一時的に遵守率が低下したが、その後の指導により令和2年度に持ち直した。							
供産安③ の物心安 推のな全 進提水で	3	鮮度・衛生管理対策についての啓発・指導を行う漁協数	15漁協	14漁協※	14漁協	15漁協	○	水産
	※平成30年度に上越市漁協と名立漁協が合併し、県内漁協数が14漁協となったため。							
工④ 食品全 での提 安心 のな推 加	4	飲食店・製造業・販売業に対する監視指導回数 ¹ の年間達成率	100%	100%	75%	100%	↓	生活衛生
	※県食品衛生監視指導計画で、業種ごとに年間回数を設定。対象延べ業種数:34,793(R2) 【進捗状況補足】 新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた監視指導を行うことができなかったため。							
品薬⑤ 使用、飼 の動物 の徹の用 底適医、 正薬農	5	加工食品の検査件数の年間達成率	100%	95%	91%	100%	→	生活衛生
	※県食品衛生監視指導計画に基づく微生物・理化学検査(放射性物質検査は除く)							
物⑥ 質食品 検査の 放射 施性	6	広域流通食品製造施設に対する監視指導回数達成率	100%	100%	100%	100%	○	生活衛生
	※県食品衛生監視指導計画で、業種ごとに年間回数を設定。対象延べ業種数:968(R2)							
な⑦ 食品等 の適 底正	7	農薬販売店等に対する講習会受講者数	972人	1,226人	763	1,200人	↓	農産園芸
	【進捗状況補足】 新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた講習会を一部開催できなかったため。							
再⑧ 食品等 の適 底正	8	食品の放射性物質検査件数の年間達成率	100%	100%	100%	100%	○	生活衛生
	※県食品の放射性物質検査計画に基づく検査							
再⑨ 食品等 の適 底正	9	県ホームページ「食の安全インフォメーション」年間閲覧数	42,339	31,765	27,332	70,000	↓	生活衛生
	【進捗状況補足】 近年、食の安全を脅かすような社会的影響の大きな事件がなく、また県内でも例年に比べて食中毒事件等の発生が少なかったことから閲覧数が少なかったものと考えられた。							
再⑩ 食品等 の適 底正	再6	広域流通食品製造施設に対する監視指導回数達成率	100%	100%	100%	100%	再	生活衛生
	10	食品衛生責任者実務講習会受講率(県所管分)	99.8%	98.7%	99.8%	100%	→	生活衛生
	11	食品表示ウォッチャーによる調査店舗数年間達成率	100%	100%	100%	100%	○	食品流通
※食品表示ウォッチャー設置要領で年間回数を設定。年間調査対象店舗数:1,200								

施策	No	指標名	基準年 (H29年度)	前年度 (R1年度)	最新値 (R2年度)	目標値 (R2年度)	進捗状況 ◆	担当課
理⑧ 整体危機 備の管	12	健康危機管理に関する研修受講率(年間)	100%	100%	93%	100%	→	生活衛生
	※食品の健康危機管理に対応する県の機関:保健所、県生活衛生課							
⑨ 県から 強の情 報発 信の	再9	県ホームページ「食の安全インフォメーション」年間閲覧数	42,339	31,765	27,332	70,000	再	生活衛生
	13	県が食の安全・安心について情報を提供していることを知っている県民の割合 【進捗状況補足】 福島第一原発事故直後の平成24年度は、県が発信する放射性物質検査の情報への関心が高かったが、その後不安感の和らぎに伴い情報への関心も薄らいできたためと考えられた。(県民アンケートで食に関する不安事項に放射性物質を挙げた人の割合:H24年度63.7% → R2年度19.7%)	57.9% (24年度)	46.3%	40.8%	70%	↓	生活衛生
	14	店頭掲示板「にいがた食の安全インフォメーション」の情報更新回数(年間)	11回	20回	20回	20回	○	生活衛生
情消事⑩ 報費業 提者者 供へか のら連	再14	店頭掲示板「にいがた食の安全インフォメーション」の情報更新回数(年間)	11回	20回	20回	20回	再	生活衛生
	15	食の安全・安心に関する講習を「非常に有意義」と評価した利用者の割合(年平均) 【進捗状況補足】 令和元年度(42.9%)から大きく減少したが、食中毒予防に関する講習の申込みが少なかったのに対し、未定部分が多い段階での食品衛生法改正に関する講習の申込みがあったことから、数値が低くなった。 (「非常に有意義」のみでは数値が低かったが、「有意義」を合わせた割合は84.2%であった)	43.7%	42.9%	17.5%	50%	↓	生活衛生
事⑪ 業消 解費 の者 推、 進県 の食 品 相 互 関 連	16	食の安全を主としたイベントの参加者数 【進捗状況補足】 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催が著しく減少したため。	3,421人	4,130人	238人	5,000人	↓	生活衛生
	再16	食の安全を主としたイベントの参加者数	3,421人	4,130人	238人	5,000人	再	生活衛生
に食⑫ 対の食 推育 進全 を通 理解 安 心の心	17	食育ボランティア登録数 【進捗状況補足】 近年ボランティアの担い手が高齢化により登録を辞退されることがあったため、又、1,000名を超える規模で登録されていた団体から更新の辞退があったため。	2,559人	1,008人	1,069人	3,000人	↓	食品・流通
	再17	食育ボランティア登録数	2,559人	1,008人	1,069人	3,000人	再	食品・流通
⑬ 食の 安全 ・ 安心 に係 る人 材の 育	18	にいがた食の安全・安心サポーター活動の年間利用者数 【進捗状況補足】 新型コロナウイルス感染症の影響により講習会などサポーターの活動の機会が大きく減少したため。	9,350人	7,495人	3,046人	10,000人	↓	生活衛生
	19	食品衛生監視員のHACCP研修受講率(年間) 【進捗状況補足】 新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会の参加者が少なかったため。	42.5% (H28年)	37.8%	29.3%	50%	↓	生活衛生
	20	農業管理指導士認定者数 【進捗状況補足】 制度発足から30年以上が経過し、退職等により農業管理指導士の資格を更新しない方が多くなってきているため。	2,769人	2,340人	2,299	2,900人	↓	農産園芸
	再20	農業管理指導士認定者数	2,769人	2,340人	2,299	2,900人	↓	農産園芸